



Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2026年10月31日
 発行者 NICE 沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町16番1号
 (事務局) 沼津市役所地域自治課内
 ☎055-934-4717
 FAX055-931-2606
<https://www.nice-numazu.org/>



多文化交流



国際理解教育部会

2026年度 第1回ミングリングパーティー

ミングリングパーティーは年3回実施している行事で、外国人の方が日本の文化に触れながら、日本人とのまたは外国人同士の交流を深めることを目的としています。

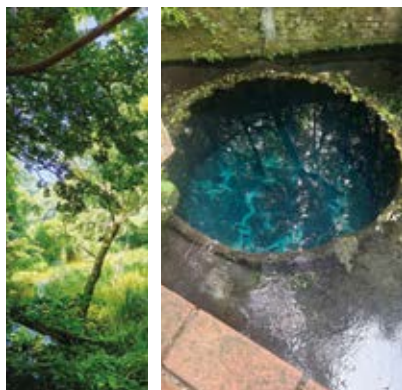
第1回目は7月25日(土)、柿田川湧水公園を見学するコースで実施しました。真夏日の厳しい暑さの中、参加者27名(外国人13名、ボランティア等14名)が柿田川公園に集合し、4グループに分かれて観光ボランティアの案内のもと湧水地をまわりました。



第一展望台では湧き間を確認し、木々をそよがせる風と清流の対比にひとときの涼しさを感じました。

第二展望台では、かつて紡績工場が使用していた井戸の跡を見学。太陽の光と砂が織りなす光景はまさに幻想的で、「ブルーホール」と称される所以を実感させるものでした。

青く澄みわたる水面をのぞき込み、目を輝かせる参加者の姿も見られました。



印象的だったのは、湧き水を水筒に汲んだことです。ひと口飲んだ外国人参加者が「おいしい!」と声をあげ、その様子を見た日本人参加者も改めて口にしてみると、「確かに違う。」との反応。

毎日当たり前に使っている地元の水が、実はとても恵まれたものであることに、日本人のほう気づかされる一幕となりました。



公園の散策路からは柿田川上流を見ることができ、豊富な水量を感じることができました。



今回は、静岡県立大学の学生1名もフィールドワークとして参加しました。多くの参加者と言葉を交わし、「今回学んだことを大学の仲間にも伝え、より多くの若者が関心を持ってくれるよう尽力したい」と話してくれました。



全行程を1時間ほどかけてまわり、すべての見学を終えたところで集合写真を撮影し、楽しい思い出とともに帰路につきました。



岳 陽 部 会

「日本と中国の漢字を楽しもう！」 運営スタッフとして参加して

8月2日(日)14時～16時、プラサヴェルデ401会議室で、(公財) 笹川平和財団と共催の「日本と中国の漢字を楽しもう！」が開催された。昨年に引き続き第2回目となる今回も講師は高橋恵子先生が担当し、小学生19名が参加した。



▲想像力で勝負のアニメ名当てクイズ

前半は、中国語の漢字（簡体字）で書かれた日本のアニメ名を当てるクイズから始まった。中国語は漢字のみであること、日本の漢字には中国伝来のものだけでなく、和製漢字・和製漢語があることを学んだ。さらに、簡体字の成り立ちについて説明があった。

後半は、漢字の創作と発表だった。漢字だけでなくペンの色にも意味を持たせた作品や、動物の名前、自分の思い出を題材にした作品など、第1回目には見られなかった発想が印象に残った。また、前半で学んだ内容を創作に生かしたり、「新しい友達ができた」と話す子どももいたことから、漢字を学ぶだけでなく交流の場にもなっていた。



▲創作時には講師に加えて補助講師もサポート

創作した漢字の発表時には、補助講師から丁寧な講評があった。特に創作の過程にも触れた

コメントから、一人一人の取り組みをよく見ていることが分かった。一方、発表が一人一作品に限られていたため、複数の作品を作った子どもについては、すべて発表できる時間があれば、より良かったと感じた。



▲一人ずつの発表も上手にできていました

私は第1回目のスタッフの経験があったので、今回はスタッフ同士で連携してスムーズに動くことができたと思う。会場の準備や片付け、子ども達の席への誘導、資料の配布、名札記入のサポートなどを担当した。前回よりも周りの様子を見る余裕があり、必要なことを確認しながら動くことができた。小さな仕事だが、実際にやってみると、こうしたサポートも運営には大事なのだと感じた。



▲自分で創った漢字を掲げて記念撮影



▲最後に運営スタッフも記念撮影

カ ラ マ ズ ー 部 会

2026年度前期NICE英会話教室 Field Work at Rakujuen, Mishima

「外国人をおもてなしする時に役立つ英会話」をコンセプトに6月7日(日)9時半～11時まで、今回初めて楽寿園にて、講師ジョシュア先生とALT講師2名を迎え、参加者18名が3つのグループに分かれてフィールドワークを行いました。



水が無くなり溶岩がむき出しの小浜池、楽寿館、可愛い動物広場、日曜日でイベント出店もあり爽やかな緑の木々の中を散策しながら、参加者の皆さんは出来る限りの英語で先生に説明をし、和気あいあいの楽しいレッスンになりました。



後期は教室でレストラン対応・お買い物などのアクティビティレッスンとなります。

交 流 会

患者さんになる

7月11日(土)に順天堂大学 三島キャンパスにて10名の外国人が患者さんに扮し、未来の看護師の勉強のお手伝いをしてきました。

今回で2回目となるお手伝いですが、外国人との交流がない日本の学生は、今回も分かりやすい日本語での説明に四苦八苦していました。参加した外国人も、知っている日本語でどこまで正確に伝えられるのかと、お互いに課題を見つけて思索しながら受け答えしている姿に感銘を受けました。

血圧測定や腹痛などの体調不良時のシミュレーションを行い、また日本の病院で困ったことや不安だったことなどについて意見交換をしました。日本人と外国人との交流が、まだまだ少ないことを実感しました。



おにぎり！！

8月1日(土)、学校法人沼津精華学園 沼津中央高等学校で開催された「いっしょに たのしく おにぎりをつくって こうりゅうしよう」に、18名の外国人と共に参加しました。

4名の生徒さんに、おにぎりの説明や手の洗い方などを教わり、おにぎりを作りました。初めて作る人が多く、炊き立ての熱いお米に苦戦していました。具材も何種類もあり、好きな具材を2種類入れたり全種類入れてみたりと、皆さんとても楽しそうでした。

生徒さんとおしゃべりしながら、出来上がったおにぎりや味噌汁と一緒に食べました。初めて味噌汁を口にする人もいて、おっかなびっくり味見している姿がとても印象的でした。

その後も生徒の皆さんがレクリエーションゲームを企画してくれ、みんなニコニコ笑顔で終わることができました。

